

「情報公開文書」

課題名：日本を含むアジア地域の急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査 (JAMIR 2)

1. 研究の対象

2015 年 11 月 1 日 ～ 2017 年 5 月 31 日に急性心筋梗塞で入院されたかた

2. 研究期間

2024 年 7 月（研究実施許可日）～ 2027 年 3 月 31 日（予定）

3. 研究目的

アジア地域の急性心筋梗塞診療における現状および問題点を明らかにして、今後の診療の改善に役立てるため

4. 研究方法

この研究は、通常の診療で得られた記録（カルテ情報）をまとめるものです。

既に実施されている研究で提供しているデータを活用し、他の研究のデータと併せて解析を行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

**患者背景：**年齢、性別、身長、体重、発症日時、搬送手段（独歩、救急車）、院外心停止の有無、入院(病院到着)日時、STEMI or NSTEMI、Killip分類、来院時血圧、来院時脈拍数、来院時血糖値、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、陳旧性心筋梗塞、脳血管障害歴、悪性腫瘍の既往、末梢動脈疾患の既往、冠動脈バイパス歴、PCI歴、心房細動歴

**再灌流療法に関連した項目：**緊急CAGの有無、アプローチ部位、責任病変部位、病変枝数、再灌流療法の有無（PCI、血栓溶解療法の有無）、Door to device time、ステント留置の有無、ステントの種類（DES種類、BMS）、最終造影のTIMI分類、責任病変以外の同時治療

**併用療法：**IABP使用の有無、PCPS使用の有無、CABGの有無

**入院中検査結果・投薬内容・合併症・予後**

**外来の投薬内容・検査結果**

6. 研究組織

共同研究機関（情報の提供）

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 榊原記念病院             | 高山 守正 |
| 横須賀市立市民病院          | 木村 一雄 |
| 横浜国立大学附属市民総合医療センター | 日比 潔  |
| 桜十字八代リハビリテーション病院   | 小島 淳  |
| 国立循環器病研究センター       | 野口 輝夫 |

|                                         |                 |
|-----------------------------------------|-----------------|
| 東京医科大学循環器内科                             | 山下 淳            |
| 東邦大学                                    | 佐地 真育           |
| 昭和大学江東豊洲病院                              | 若林 公平           |
| 熊本大学                                    | 小川 久雄           |
| 日本大学医学部                                 | 奥村 恭男           |
| 長崎大学                                    | 前村 浩司           |
| 岩手医科大学                                  | 伊藤 智範           |
| 宮崎市群医師会病院                               | 西平 賢作           |
| 弘前大学                                    | 富田 泰史           |
| 東京大学                                    | 竹上 未紗           |
| 台湾 Kaohsiung Veterans General Hospital  | Wei-Chun Huang  |
| 韓国 Chonnam National University Hospital | Myung Hoe Jeong |

## 7. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は循環器病研究振興財団からの研究費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：熊本大学病院 循環器内科 松澤泰志

住所：〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

連絡先：096-373-7418

当院の研究責任者：熊本大学病院 循環器内科 辻田 賢一

研究代表者：東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 安田 聡

以上